

Mizuho Daily Market Report

2024/8/28

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	143.87	144.53	+0.16	▲2.06
EUR	1.1179	1.1161	▲0.0031	+0.0076
AUD	0.6773	0.6772	▲0.0023	+0.0041
SGD	1.3031	1.3041	+0.0029	▲0.0041
CNY	7.1206	7.1220	+0.0011	▲0.0175
MYR	4.3482	4.3488	▲0.0260	▲0.0340
THB	33.99	33.98	▲0.29	▲0.48
IDR	15422	15430	▲60	▲123
PHP	56.04	56.34	+0.00	▲0.31
INR	83.89	83.90	+0.00	+0.03
VND	24876	24873	▲105	▲100

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.816%	+1.7 bp	▲5.5 bp
日本(10年)	0.891%	▲0.9 bp	+0.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.248%	+2.3 bp	+0.2 bp
オーストラリア(5年)	3.495%	▲8.9 bp	▲9.1 bp
シンガポール(5年)	2.640%	▲3.2 bp	▲5.6 bp
中国(5年)	1.838%	▲1.3 bp	▲5.2 bp
マレーシア(5年)	3.490%	▲0.3 bp	▲3.0 bp
タイ(5年)	2.278%	▲3.8 bp	+0.8 bp
インドネシア(5年)	6.513%	▲3.1 bp	▲3.0 bp
フィリピン(5年)	5.906%	+0.1 bp	+2.4 bp
インド(5年)	6.772%	▲1.2 bp	▲1.1 bp
ベトナム(5年)	2.090%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	41,240.52	+0.2%	+0.8%
N225(日本)	38,110.22	▲0.7%	+1.9%
STOXX50(ユーロ圏)	4,896.69	▲0.3%	+0.5%
ASX(オーストラリア)	4,557.24	+0.0%	▲0.3%
FTSE(シンガポール)	3,396.03	+0.2%	+1.2%
SSEC(中国)	2,855.52	+0.0%	▲1.3%
SENSEX(インド)	81,698.11	+0.8%	+1.6%
JKSE(インドネシア)	7,606.20	+0.8%	+1.9%
KLSE(マレーシア)	1,638.96	+0.2%	▲0.6%
PSE(フィリピン)	6,961.96	+0.0%	+1.0%
SETI(タイ)	1,364.81	+0.7%	+3.1%
VNINDEX(ベトナム)	1,280.02	▲0.4%	+1.5%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	281.97	+1.2%	+2.0%
金	2,518.03	+0.2%	+0.5%
原油(WTI)	77.42	+3.5%	+4.1%
銅	9,173.38	+0.0%	+0.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	142.60	—	145.30
EUR/USD	1.0930	—	1.1250
AUD/USD	0.6685	—	0.6850
USD/SGD	1.2960	—	1.3180
USD/CNY	7.1160	—	7.1490
USD/INR	4.3000	—	4.3930
USD/THB	33.70	—	34.75
USD/IDR	15350	—	15750
USD/PHP	56.00	—	57.00
USD/INR	83.00	—	84.10
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は144円台半ばで取引を開始し公示仲値決定のタイミングにかけ上昇。仲値決定後はじり高で推移し、アジア時間高値となる144円台後半まで上昇したが、実需筋からは輸出も出る状況で、売り買い拮抗。その後は実需の円買いを受け下押しする場面もあったが、ショートポジションの調整も継続的に出る中で方向感定まらず。結局144円台半ばで欧州市場へ渡った。
アジア通貨は概ね軟調。直近のドル安の流れに調整が入る形でドルがじり高となる中、アジア通貨は総じて対ドルで下落となった。

海外市場のドル円は欧州時間145円台前半まで上昇するも、同水準では上値重く再度144円台半ばまで値を戻して米州時間入り。米州時間午前中に発表された米8月コンファレンスボード消費者信頼感指数は予想を上回るも、特段ドル買いとはならず。その後は米金利の低下が重しとなり、144円台前半までじり安で推移。その後に発表された堅調な米2年債の入札結果を受け、米金利が一段と低下する動きを横目に、ドル円も143円台後半まで値を下げクローズした。

【金利】

米債利回りは短期で下落した一方、長期では上昇しカーブはスティープ化。発表されたコンファレンスボードの結果を受け長期を中心に金利上昇。一方、その後の2年債入札が好調だったことを受け短期では買いが優勢となり金利低下。

【予想】

本日のドル円は底堅い値動きを予想。直近のドル売りの流れにも一服感がみられる中、ドル円は底堅く推移するか。本日は米NVIDIAの5-7月期決算の発表に注目が集まっている状況。同社の決算が好調な内容となった場合、株高・リスクセンチメントの改善などを受け、ドル円も上昇となるものと見込まれる。

【本日の予定】

(日本) 輪番 3-5y、5-10y、10-25y、25y超
(アジア) 2Q 豪 建設工事完工%
(アジア) 7月 フィリピン 財政収支
(アジア) 7月 豪 CPI / CPIトリム平均値
(欧州) 2Q 愛 GDP(確) / 経常収支
(欧州) 6月 伊 工業売上
(欧州) 8月 仏 消費者信頼感
(欧州) 9月 独 GfK消費者信頼感
(欧州) 伊 国債入札(6M)
(米国) FRN入札(2Y)
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(5Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。